

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害対策事業			会計	款	項目	大	小	
				01	09	01	05	02	04
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における被害の防止・軽減と復旧を図る。
事業内容	災害時における応急対策として、排水機場運転や土のう運搬・回収、倒木等の撤去、除雪などの事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	災害により被害等が発生した場合に、本事業により事業を実施するものとしていることから、本事業の必要性について変更はない。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	災害時の要請件数	20	1	0	件	↓↓↓
②	復旧件数	20	1	0	件	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度から復旧事業については、水防本部、災害対策本部が設置された場合は、防災危機管理課が復旧事業を実施し、本部が設置されない場合は、各担当課で復旧事業を実施することとなった。したがって平成25年度は、防災危機管理課の事業として、施設の復旧を必要とする災害は発生しなかった。			
事務事業の総計(a=b+c)	12,033,035		1,000				
事業費(b)(円)	11,654,235		1,000				
うち一般財源	11,654,235		1,000				
職員給与費(c)(円)	378,800						
人役・職員(人)	0.05						
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円) (建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数 (年) (建設又は取得年度のみ記入)							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	災害時に応急対応する体制の整備。	③取り組みの課題	災害発生の際の早急な対応のため、応急対応ができる業者と協定を締結する。
②今年度(H25)に実施した取り組み	応急対応する必要がある災害は、発生しなかった。	④今後の改善計画	災害発生時に、必要な応急対策を効率的に行い、速やかに災害復旧ができるよう体制を整備する。